

第22回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: 日本の次世代リーダー養成塾

専務理事・事務局長 加藤 暁子

報道関係者連絡先:

090-1113-3914

kato@leaderjuku.jp、info@leaderjuku.jp

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

塾期間中(7月28日～8月8日)の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-32-1380

URL: <http://leaderjuku.jp>

戦後 80 年の今を直視し「争いのない未来を描こう～分断からの決別」と題して

全国の高校生が期間中「グローバル・ハイスクール・サミット」を開催します

8 月 6 日に九州大学と共催でマレーシアのマハティール元首相が講義

「100 歳のリーダーから～争いのない未来を築く処方箋」と題して講義します

マハティール氏には九州大学から名誉博士号を授与

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の筒井義信会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用するリーダーの育成を目指した高校生対象の 11 泊 12 日のサマースクールです。経済界や地方自治体がスクラムを組み、2004 年に開塾、今年で 22 回目を迎えます。7 月 28 日(月)から 8 月 8 日(金)まで、福岡県宗像市のグローバルアリーナ、佐賀県波戸岬少年自然の家で実施します。

【全国・海外の高校生 149 人が参加します】

全国 22 都道府県と海外(アメリカ、エチオピア、フランス、ベトナム)で学ぶ日本の高校生 149 人が 11 泊 12 日寝食を共にします。

卒塾生は今年の参加高校生が卒塾すると 3704 人となります。日本や海外の大学・大学院に進学した後に、社会人として外交官、国家・地方公務員、医師、教師、政治家、起業家、金融機関や商社、製造業などの企業、国際機関や世界各地で NGO を立ち上げ、社会に貢献できる人財として活躍しています。塾期間中は、協賛企業や卒塾生らの社会人がクラス担任を務め、卒塾生を中心とした大学生がボランティアとして、塾生の指導をします。

【一流講師による講義】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。マレーシアで 1981 年から 22 年間首相を務め、92 歳で首相として再登板したマハティール元首相は今年 7 月、100 歳になりました。8 月 6 日(水)午後 14 時から「100 歳のリーダーから～争いのない未来を築く処方箋」と題して講義します。マハティール氏は日本人から学ぶ「ルック・イースト政策」を国是とした親日家です。世界各地で起きている紛争や分断を次世代がリーダーとしていかに解決していくべきか、塾生による「グローバル・ハイスクール・サミット」の政策発表を聞いた上で、平和主義者である世界最高齢の 100 歳の現役政治家として、文明の衝突をしないための処方箋を塾生に指南します。

この他期間中、ノーベル平和賞を授賞した田中重光・日本被団協代表委員、佐橋亮・東京大学東京文化研究所教授、長船健二・京都大学 iPS 細胞研究所副所長・教授ら学者、経済人、知事、芸術家ら日本を代表する 22 人の講師が講義をします。(講師一覧とマハティール氏関連は別紙)

【グローバル・ハイスクール・サミット】

期間中毎日、6つのクラスでプロジェクト型取り組み「グローバル・ハイスクール・サミット」を行います。今年のテーマは「争いのない未来を描こう～分断からの決別」。7月29日(火)のキックオフでは、クラスごとに現在起きている戦争や紛争について具体的に歴史的背景、原因、情勢を弟や妹、後輩に聞かれたら説明できるような教科書を作成した事前課題について討議。8月3日(日)～8月6日(水)には全世界の高校生を対象とした交換留学団体(公財)AFS日本協会と約1年間、九州・沖縄の高校で学んでいる留学生から世界各地の分断の現状を聞き、共に討議します。そして、8月5日(火)の最終発表に向けて、人種、民族、宗教、文化の違いを認めて国境を越えて分断を協調に変えていくための処方箋を考えます。8月6日(水)にマハティール元首相の前で代表者が発表を行います。(詳細は別紙)

【フィールドトリップ】

＊宗像大社見学 7月30日(水)

2017年7月に世界遺産登録が決定した『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の中心となる宗像大社辺津宮(総社)を訪れ、神宝館で世界遺産である沖ノ島で発掘された国宝(8万点の一部)などを見学します。そして、葦津敬之・宗像大社宮司から「宗像の世界遺産の取り組みと環境問題」と題して講義していただきます。

＊佐賀県立名護屋城博物館を見学 8月3日(日)

佐賀県立名護屋城博物館では、武谷和彦・同博物館副館長に「肥前名護屋城と名護屋城博物館」と題して講義していただいた上で、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学びます。

関連したテーマの講師として、8月4日(月)に李鳳宇・映画プロデューサーが「映画で考える、我々の過去と未来」を、沈壽官・薩摩焼十五代が、「伝統を守り現代を表現する」と題して講義します。リーダー塾でお二人が知り合ったことで生まれた沈壽官氏を主人公にした映画「ちゃわんやはなしー四百年の旅人ー」を8月1日(金)に上映します。

＊8月3日(日)午前10時から、SAGAアリーナで山口祥義・佐賀県知事が「未来につなぐ君たちへ今伝えたいこと」と題して講義します。

【宗像の食材で味噌汁コンテスト】

開催地宗像は海や山の幸に恵まれた豊潤な地です。7月30日(水)、クラス対抗で、宗像の食材を道の駅むなかたで調達し、協賛企業のフンドーキン醤油株式会社から味噌をご提供いただき、日本人の食卓に欠かせない味噌汁をつくります。コンテストを前に小手川強二・同社社長に「発酵食品が繋ぐ国際化」と称して講義していただきます。

【目標宣言と夢ディスカッション】

12日間の集大成として、8月7日(木)午前、夢ディスカッションを行い、午後に塾生一人一人が将来の夢を発表します。

【報道に関する連絡先】

日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤暁子の携帯番号とメールでお願いします。

090-1113-3914

kato@leaderjuku.jp

【添付資料】

1. 事業概要
2. 講師一覧と講義タイトル
3. カリキュラム表
4. グローバル・ハイスクール・サミット
5. 九大×リーダー塾 マハティール・モハマド元マレーシア首相 特別講演会
6. 味噌汁コンテスト
7. 主催者からのメッセージと役員等名簿
8. 塾生概要
9. 塾生高校一覧

第22回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：筒井義信／一般社団法人日本経済団体連合会会長

2 開催日程

2025年7月20日(日)13:00～18:00 オンライン（オリエンテーション）

2025年7月28日(月)～8月8日(金) 合宿形式（対面）

3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

佐賀県波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※波戸岬少年自然の家には8月3日（日）～8月6日（水）の3泊4日で宿泊。

4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 149名

内 訳	参画自治体推薦枠 (北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、福岡県 佐賀県、宗像市、うるま市)	110名
	全国からの一般公募枠	39名

5 カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

● 教養系 （哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。

● ビジネス系 （日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。

● 国際系 （国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）

世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。

● 人間学 （将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約25名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

③ プロジェクト型企画「グローバル・ハイスクール・サミット」

12日間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「グローバル・ハイスクール・サミット」を開催します。

④ フィールドトリップ

- 佐賀県立名護屋城博物館にて当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本列島と朝鮮半島間の歴史を学びます。
- 宗像大社神宝館で世界遺産である沖ノ島で発掘された国宝（8万点の一部）などを見学します。
- 「道の駅むなかた」を見学して、味噌汁コンテストで調理する食材を調達します。

第 22 回日本の次世代リーダー養成塾講師一覧と講義タイトル

1. 葦津 敬之 / 宗像大社宮司
「宗像の世界遺産への取り組みと環境問題」
2. 長船 健二 / 京都大学 iPS 細胞研究所副所長・教授
「iPS 細胞を用いた再生医療の現状と未来」
3. 柿田 富美枝 / (一財)長崎原爆被災者協議会事務局長
「被爆二世からのメッセージ」
4. 笠谷 和比古 / 国際日本文化研究センター名誉教授
「映画『オッペンハイマー』を観て—原爆神話批判—」
5. 川原 尚行 / 認定 NPO 法人ロシナンテス理事長
「究極の医療とは戦争をしないこと、させないこと～内戦のスーダンを経験して～」
6. 小手川 強二 / フンドーキン醤油(株)代表取締役社長
「発酵食品が繋ぐ国際化」
7. 坂本 信博 / (株)西日本新聞社メディア戦略局兼編集局上級専門委員メディア戦略担当部長
「巨竜に迫った 3 年間 ～ 隣人・中国とどう向き合うか」
8. 佐々木 久美子 / (株)グルーヴノーツ取締役会長・創業者
「高校生が知っておくべきテクノロジーのインパクト」
9. 佐野 恵美子 / ショコラティエ、「LES TROIS CHOCOLATS PARIS」代表
「フランスと日本で見つけた「好き」を仕事にするチョコレートの旅」
10. 佐橋 亮 / 東京大学東洋文化研究所教授
「世界の人々の平和と繁栄をどうすれば実現できるのか？」
11. 調 漸 / (公財)長崎平和推進協会理事長、長崎市立病院機構副理事長、長崎大学名誉教授
「被爆都市長崎から若者たちと共に未来を切り開く」
12. 滝 久雄 / (株)ぐるなび取締役会長・創業者、(株)NKB 取締役会長・創業者
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
13. 武谷 和彦 / 佐賀県立名護屋城博物館副館長
「肥前名護屋城と名護屋城博物館」

14. 田中 重光 / (一財)長崎原爆被災者協議会会長、日本原水爆被害者団体協議会代表委員
「被爆者として次世代に伝えたいこと」
15. 沈 壽官 / 薩摩焼十五代
「伝統を守り現代を表現する」
16. 中川 智博 / 外務省経済局経済連携課首席事務官
「壇上に立ってみる」
17. マハティール・ビン・モハマド / 元マレーシア首相
「100歳のリーダーから～争いのない未来を築く処方箋」
“Prescription from 100-Years Old Leader for Building a Future without Conflict”
18. 宮川 眞喜雄 / 前内閣国家安全保障局国家安全保障参与
「歴史を読み。科学を学べ。危機を予知し、皆を率いて対処せよ。
日本のために、そして我々のアジアのために」
19. 村岡 浩司 / (株)一平ホールディングス代表取締役社長
「ローカルからの新しい価値を生み出そう」
20. 山口 祥義 / 佐賀県知事
「未来につなぐ君たちへ今伝えたいこと」
21. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、(株)スモモ代表取締役、日本大学芸術学部映画学科講師
「映画で考える、我々の過去と未来」
22. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事、(公財)AFS 日本協会理事長
「“Warm Heart Cool Head” 激動の時代に先を照らすリーダーとは」

(敬称略・五十音順)

第22回 日本の次世代リーダー養成塾 カリキュラム表 (2025年7月20日・7月28日～8月8日)



敬称略

日付	日程	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
0	7/20 (日)	オンライン																	
1	7/28 (月)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	スタッフ紹介	お風呂		
2	7/29 (火)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	キャリア教育	お風呂		
3	7/30 (水)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	味噌汁コンテスト	お風呂		
4	7/31 (木)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	グローバル・ハイスクール・サミット	お風呂		
5	8/1 (金)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	映画鑑賞『ちやわんやのはなし - 四百年の旅人 -』	お風呂		
6	8/2 (土)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	グローバル・ハイスクール・サミット	お風呂		
7	8/3 (日)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	入所式	お風呂		
8	8/4 (月)	佐賀	朝食	掃除	HR										お風呂	グローバル・ハイスクール・サミット	お風呂		
9	8/5 (火)	佐賀	朝食	掃除											お風呂	グローバル・ハイスクール・サミット	お風呂		
10	8/6 (水)	佐賀	朝食	掃除											荷物移動	夕食	お風呂		
11	8/7 (木)	G	朝食	掃除	書庫										夕食	本塾前夜祭	お風呂		
12	8/8 (金)	G	朝食	掃除											夕食				



「争いのない未来を描こう～分断からの決別」

リーダー塾では、プロジェクト型の取り組みとして「グローバル・ハイスクール・サミット」を行います。簡単に答えが出ない課題について期間中、高校生同士が考え、徹底的に討論して、具体的な成果物をつくります。

今年のテーマは「争いのない未来を描こう～分断からの決別」です。第二次世界大戦が終わって 80 年。政治や経済の分野で様々な国々や地域が連携し合う仕組みづくりをしてきたはずが、あっという間に自国に有利なことばかりを優先するリーダーが登場し、協調の道から一気に分断の時代に突入してしまいました。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのパレスチナへの激しい爆撃が終わりを告げない中、イスラエルがイランの核施設などを爆撃し、イランはイスラエルへ報復攻撃を行い、アメリカが核施設にミサイルを撃ち込みました。このほか、カシミール紛争、ミャンマーやスーダンでの内戦で無実の人々が今、この瞬間も命を落としています。

民主主義国家のアメリカはトランプ大統領の就任で一方的な関税政策を発表し、移民を排除する政策を取り、留学生が学ぶ場を失う事態となっています。ヨーロッパ各地でも右傾化が進み、難民を排斥する動きが顕著になっています。

日本は戦後 80 年、努力を重ねて先進国入りして、ほとんどの国民が飢えず、医療を受けられるなど基本的な権利を有する国となりました。しかし、今、経済格差が広がり、追い打ちをかけるように地球温暖化による天変地異が起これ、将来を考える時、国民の多くが先行きへの不安を感じています。

今夏、広島と長崎に原爆が落とされて 80 年を迎えます。昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。唯一の被爆国として、その意味と責務を次世代はきちんと知り、核戦争はおろか、世界にこれ以上の分断が広がることを阻止することが私たちの使命です。

日本が、日本のためにできること、そして、日本が世界のためにできることって何なのか。5 年先、10 年先、20 年先そして、80 年先をも子どもたちが笑顔で暮らせる平和を享受できる世界を築くために、12 日間という限られた時間内に、高校生が分断の歴史的背景、原因、現状、そして、その分断を協調に変える未来を描く処方箋を考えていきます。

【グローバル・ハイスクール・サミット主な予定】

- 7 月 29 日** クラスごとに事前課題として作成した教科書を持ち寄り討議
(世界各地で起きている戦争や紛争、対立の歴史的背景、原因、情勢)
- 1 組 アメリカ・イラン・イスラエルで起きている軍事的衝突
 - 2 組 スーダン・ミャンマーの内戦
 - 3 組 中国・台湾の問題
 - 4 組 イスラエル・パレスチナの戦争
 - 5 組 韓国・北朝鮮の分断と問題
 - 6 組 ロシア・ウクライナ戦争
- 7 月 31 日** 中間発表
- 8 月 3 日** 九州・沖縄に留学中の AFS 交換留学生との討議
- 8 月 5 日** 最終発表
- 8 月 6 日** 九州大学でマハティール元マレーシア首相の前で代表者が発表



Japan Future Leaders School

日本の次世代リーダー養成塾

〒107-0062 東京都港区南青山 5-12-28 メゾン南青山 403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

九州大学×日本の次世代リーダー養成塾 マハティール・モハマド元マレーシア首相 特別講演会

今年、戦後 80 年を迎えるにあたって、第二次世界大戦を経験したマハティール元マレーシア首相に「100 歳のリーダーから～争いのない未来を築く処方箋」と題して九州大学の学生、日本の次世代リーダー養成塾の高校生を前に特別講演会を行います。大学生、高校生以外の一般の方々も聴講が可能です。

日時：2025 年 8 月 6 日（水）14:00～15:45

会場：九州大学伊都キャンパス 椎木講堂コンサートホール

13:30～ 開場・参加者受付

14:00～15:20 マハティール氏講演会

15:25～15:45 名誉博士号授与式

使用言語：英語・日本語（逐次通訳あり）

対象：どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

主催：九州大学

共催：日本の次世代リーダー養成塾

協力：九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）

後援：福岡県、福岡市、九州経済国際化推進機構、福岡・マレーシア友好協会

申込締切日：2025 年 7 月 31 日（木）

お申込みの際には、以下注意事項をお読みのうえ、フォームにご記入をお願いします。

<参加登録はこちら>

<https://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/news/34795.html>

個人情報の取扱い

お送りいただきました個人情報については九州大学にて厳重に管理し、本イベントの運営以外には使用いたしません。詳しくは九大 HP 参照してください。

参加などイベントのお問合せ

国際部国際企画課国際連携：intl@senryaku@jim.kyushu-u.ac.jp

取材に関するお問い合わせ

日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長 加藤暁子

電話：090-1113-3914

MAIL: kato@leaderjuku.jp

宗像の食材で味噌汁コンテスト



7月30日「宗像の食材を使った味噌汁コンテスト」を開催します。このプロジェクトは、1861年に創業した大分県臼杵市に本社があるフンドーキン醤油株式会社様のご協賛の一環として行われます。味噌汁は日本人の食卓には欠かせない食べ物。北から南まで全国各地で味噌の種類からだしの取り方は千差万別です。宗像の食材を使ってクラス対抗、味噌汁づくりに挑戦します。

宗像市は、北は玄界灘に面し、南は山に囲まれ、海の幸や山の幸に恵まれた豊潤な地です。味噌の原料である大豆の産地でもあります。食材は、道の駅むなかたで購入する宗像産のものを中心に使用します。クラスごとに食材は4種類以内で選んでください。なお、出汁は別途、鰹節、昆布、いりこを用意します。好きなものを選んでください。味噌汁コンテストは単に味噌汁を作るだけでなく、リーダー塾らしく、クラスごとにテーマを決めて、作った味噌汁のプレゼンテーションを行います。

味噌汁コンテストの審査員は小手川強二・フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長、小手川映子・「旅の食卓」著者、中野和久・株式会社道の駅むなかた代表取締役、中村博二・宗像市教育部長、藤井通彦・東西大学日本研究センター客員教授、加藤暁子・日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長に務めていただきます。

【開催概要】

1. スケジュール 7月30日（水）

- 14:30～15:45 小手川強二・フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長講義
- 16:00～17:00 調理（バーベキュー会場）プレゼン準備（HR 部屋）
- 17:00～17:15 ノーサイドへ味噌汁を運ぶ
- 17:15～17:30 味噌汁・夕食を配膳
- 17:30～17:45 プレゼン・審査（各クラス1分間）
- 17:45～18:10 夕食（終了後、調理場所に戻って片付け）
- （18:10～18:30 審査時間）
- 18:30～19:00 審査員による結果発表・総評（武道場）

2. ルール

- 1クラスで約30人分の味噌汁を作ります。
- 食材は、下記の食材リストを参考にホームルームなどの時間を使って各クラスで考え、7月29日（火）までに事務局に提出してください。また、使うダシ（いりこ、こんぶ、かつお節）も決めて下さい。
- 食材の種類は最大4種類までです。食材は7月30日（水）に道の駅むなかたに購入に行きます。
- 食材によっては季節や気候により希望の食材が揃わない場合もあります。今、売っている野菜は何かをきちんと調べてください。下に例を挙げています。
- 調理時間は準備時間も含めて16:00～17:00の60分間です。時間内に完成しない場合は失格となります。
- 最後に行なう審査員向けのプレゼンテーションも採点に入ります。

3. 採点

採点は審査員が行います。総合点数が一番高得点のクラスが最優秀賞となります。

4. 食材リスト（掲載されていない食材については事務局に相談してください）

- 【野菜】 ホーレンソウ、キュウリ、ジャガイモ、玉ねぎ、青ネギ、白ネギ、インゲン、大根、小松菜、レタス、キャベツ、アスパラガス、トマト、ニンジン、ごぼう、かぼちゃ、ピーマン、茄子、にら、もやし、つるむらさき、シソ、キノコ、みょうが、にがうり、芋づる、干しいたけなど
- 【魚介類・海藻】 わかめ、めかぶ、あおさ、あかもく、ちくわ、かまぼこ、タイ、アジ、イカ、
- 【肉類】 豚肉バラ、鶏肉、たまご
- 【その他】 豆腐、こんにゃく、油揚げ
- 【調味料】 味噌以外の調味料・香辛料なども使用可能

主催者からのメッセージ

筒井 義信 塾長（一般社団法人日本経済団体連合会会長）



いま、世界は大きな試練のただ中にあります。地球環境問題はもちろんのこと、国際秩序を含めて、これまで「当たり前」と思ってきた物事がいともたやすく変貌する様子を私たちは日々目の当たりにしています。わが国に目を転じれば、少子高齢化・人口減少、資源・エネルギー制約など様々な課題が複雑なパズルのように入り組んで、私たちの眼前に立ちはだかっています。

こうした状況下で私たちには何ができるでしょうか？私は、「科学技術立国」と「貿易・投資立国」によるわが国の確かな成長の実現に向けて、中長期の視点からロードマップを描いていくことが重要と考えています。具体的には、イノベーション、税・財政・社会保障の一体改革、地方創生、労働改革、経済外交の強化という5つの分野に果敢に挑戦することが必要です。

次世代のリーダーを志す皆さんには、こうした国家規模、いや、世界規模の課題を自分事として捉え、構想力、実行力、協働力を存分に鍛えていただきたいと思います。必要なのは、広い視野と中長期の視点、そして一歩を踏み出す勇氣です。失敗を恐れず挑戦し、多様な仲間と切磋琢磨しながら、世界に新たな価値をもたらすフロンティアとなっていきたいと思います。私は、変化のさなかにいる皆さんの情熱と行動力こそ、次の時代を切り拓く最大の原動力であることを信じてやみません。私も塾長として、皆さん一人ひとりの挑戦を心から応援しています。

「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾 長	筒井 義信／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榊原 英資／イーエスフォーラム株式会社代表、財務省元財務官
筆頭理事	服部 誠太郎／福岡県知事
理 事	浅野 史郎／土屋総研特別研究員、元宮城県知事
理 事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社名誉顧問
理 事	伊豆 美沙子／福岡県宗像市長
理 事	江崎 禎英／岐阜県知事
理 事	鈴木 直道／北海道知事
理 事	鈴木 康友／静岡県知事
理 事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社名誉顧問
理 事	滝 久雄／株式会社ぐるなび取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長・創業者
理 事	達増 拓也／岩手県知事
理 事	橋田 紘一／特定非営利活動法人九州・アジア経営塾理事長兼塾長
理 事	溝上 泰弘／株式会社ミズホールディングス代表取締役会長
理 事	宮崎 泉／和歌山県知事
理 事	宮下 宗一郎／青森県知事
理 事	宗政 寛／株式会社サニックスホールディングス代表取締役社長
理 事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子／日本の次世代リーダー養成塾事務局長が兼務
監 事	樋口 和光／九州電力株式会社常務執行役員

第22回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

塾生総数 149名
22都道府県+4か国（アメリカ、エチオピア、フランス、ベトナム）

○参画自治体推薦枠 110名

	都道府県	人数
1	北海道	6 名
2	青森県	7 名
3	岩手県	7 名
4	静岡県	15 名
5	岐阜県	6 名
6	和歌山県	14 名
7	福岡県	35 名
8	佐賀県	16 名
9	宗像市	2 名
10	うるま市	2 名
計		110 名

○一般公募枠 39名

	都道府県	人数
1	山形県	1 名
2	千葉県	1 名
3	東京都	5 名
4	神奈川県	4 名
5	石川県	1 名
6	静岡県	1 名
7	愛知県	1 名
8	大阪府	1 名
9	兵庫県	2 名
10	愛媛県	4 名
11	広島県	1 名
12	福岡県	7 名
13	大分県	1 名
14	長崎県	1 名
15	熊本県	1 名
16	沖縄県	2 名
17	海外	5 名
計		39 名

第 22 回日本の次世代リーダー養成塾 塾生高校一覧

22 都道府県+4 か国（アメリカ、エチオピア、フランス、ベトナム） 97 校

学校所在地	学校名
北海道	札幌市立札幌開成中等教育学校
	北海道立夕張高等学校
	私立函館ラ・サール高等学校
	私立北星学園女子中学高等学校
青森県	青森県立青森高等学校
	青森県立三本木高等学校
	青森県立八戸北高等学校
	私立青森明の星高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
岩手県	岩手県立大船渡高等学校
	岩手県立釜石高等学校
	岩手県立葛巻高等学校
	岩手県立福岡高等学校
	私立盛岡白百合学園高等学校
山形県	山形県立寒河江高等学校
千葉県	私立市川高等学校
東京都	東京都立富士高等学校
	私立成城学園高等学校
	私立東京女学館高等学校
	私立日本大学第二高等学校
	アメリカンスクールインジャパン
神奈川県	私立聖光学院高等学校
	私立洗足学園中学高等学校
	私立平塚学園高等学校
	私立横浜隼人高等学校
石川県	私立星稜高等学校
岐阜県	岐阜県立加納高等学校
	岐阜県立関高等学校
	私立鶯谷高等学校
	私立済美高等学校
	静岡県立科学技術高等学校
静岡県	静岡県立清水東高等学校
	静岡県立沼津東高等学校
	私立加藤学園暁秀高等学校
	私立静岡英和女学院高等学校
	私立静岡学園高等学校
	私立静岡県富士見高等学校
	私立静岡サレジオ高等学校
	私立静岡聖光学院高等学校
	私立知徳高等学校
	私立桐陽高等学校
	私立常葉大学附属菊川高等学校
	私立浜松日体高等学校
愛知県	私立海陽中等教育学校
大阪府	私立四天王寺高等学校
兵庫県	私立近畿大学附属豊岡高等学校
	私立三田学園高等学校
和歌山県	和歌山県立新宮高等学校
	和歌山県立日高高等学校

学校所在地	学校名
和歌山県	私立開智高等学校
	私立近畿大学附属和歌山高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
広島県	広島県立加計高等学校 芸北分校
愛媛県	愛媛県立西条高等学校
	愛媛県立南宇和高等学校
	私立愛光高等学校
福岡県	福岡県立ありあけ新世高等学校
	福岡県立香椎高等学校
	福岡県立春日高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立小倉高等学校
	福岡県立小倉工業高等学校
	福岡県立早良高等学校
	福岡県立城南高等学校
	福岡県立筑紫丘高等学校
	福岡県立伝習館高等学校
	福岡県立宗像高等学校
	福岡県立八幡高等学校
	福岡県立山門高等学校
	福岡県立八女高等学校
	私立上智福岡高等学校
	私立筑紫女学園高等学校
	私立筑陽学園高等学校
	私立福岡工業大学附属城東高等学校
	私立福岡女子商業高等学校
	私立福岡大学附属大濠高等学校
	私立明治学園高等学校
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立鹿島高等学校
	佐賀県立唐津東高等学校
	佐賀県立神埼高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	佐賀県立三養基高等学校
	私立弘学館高等学校
長崎県	私立早稻田佐賀高等学校
	長崎県立長崎東高等学校
熊本県	熊本県立八代高等学校
大分県	大分県立大分鶴崎高等学校
沖縄県	沖縄県立石川高等学校
	沖縄県立開邦高等学校
	沖縄県立具志川商業高等学校
	Okinawa Christian School International
海外	International Community School of Addis Ababa
	LYCEE GAMBETTA-CARNOT
	St. Croix Lutheran Academy
	the Williston Northampton school
	United Nations International School of Hanoi